

## 川口さん家族

佳昭さん 君香さん

もあなさん(左) 真之晃くん(右) かれなさん(中)

家族全員で動画視聴し、仲良く笑みをこぼす川口さん親子。川口家のメディアを使うルールは「平日は1時間、土日は2時間」だ。佳昭さんと君香さんも必要な時以外はスマホを利用しない。その理由を「家族の時間や子どもとの会話を大切にしたいから」と君香さんは話す。佳昭さんは「勉強にも役立つし、興味のあることを追求するには利用すればいいと考えています。ただ、ネットやゲームばかりも良くないと思う」とメディアの利用について考えている。もあなさんは「使う時間はできる限り守っている」と話し、真之晃くんも「最近サッカーを始めたから、タブレットよりもサッカーの練習をしている」という。佳昭さんは「今後は、子どもたちの成長をみながら一緒にルールを考えていきたいと思っています」と子どもたちを見つめながら話した。

暇さえあればポケットやバッグからスマホを取り出し、利用している人をたくさん見かける。子どもも同じ。学校や部活、スポーツ少年団などから帰ってきたら、真っ先にメディアの電源を入れる。すきま時間はスマホやタブレット、ゲームばかり。そんな生活になっている子どもも多いのではないだろうか。

メディアを利用すると、何でも「楽」にヒントや必要な情報が導き出される。しかも遊びや趣味で使えば楽しい。だから私たちを含め、子どもたちも日常的に使うようになった。その一方で「可愛い子には旅をさせよ」ということわざがあるように、生きていく上で子どもには知識だけでなく、たくさんの経験も必要だ。「ら」楽、メディアを利用することだけではなく、「く」苦、苦労やたくさんの実体験、本物に触れる、この2つが次代を生きていく子どもたちの「生きる力」につながっていく。

子どもにとって、メディアは学習や息抜きに利用できる便利で楽しいツールだ。その反面、使いすぎると悪影響も及ぼす。メディアは、あくまでもツールに過ぎない。それを理解した上で、親子で一緒に利用の仕方を考え、行動してほしい。